

平成28年6月29日

## 原料費調整制度に基づく平成28年8月検針分のガス料金について (群馬地区)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成28年8月検針分の単位料金を、平成28年7月検針分に比べ1m<sup>3</sup>(43.14MJ)につき1.62円(消費税込)下方に調整いたします。

今回の調整は、平成28年3月～平成28年5月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に41m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で平成28年7月検針分と比較して、66円(消費税込)ガス料金が下がります。

平成28年8月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

毎月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量	料金表A	料金表B	料金表C
	0～26m <sup>3</sup>	27～522m <sup>3</sup>	523m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	745.20	1,272.54	7,473.90
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	116.06	95.78	83.90
調整単位料金 7月 (円/m <sup>3</sup> )	117.68	97.40	85.52

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量	平成28年 7月	平成28年 8月	増減
41m <sup>3</sup> (43.14MJ/m <sup>3</sup> )			
適用料金(円/月)	5,265	5,199	▲66

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5ヵ年平均)に基づき算定するよう変更いたしました。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成28年2月～平成28年4月 の平均 (7月検針分)	平成28年3月～平成28年5月 の平均 (8月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	20,250	18,200	▲ 2,050
LNG	42,480	37,960	▲ 4,520
LPG	40,380	38,930	▲ 1,450
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	▲ 7,100	▲ 9,100	▲ 2,000

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 37,960 \times 0.4414 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 38,930 \times 0.0371 \end{aligned}$$

$$= 18,199.84$$

↓(10円未満四捨五入)

$$18,200 \text{ 円/t}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$18,200 \text{ 円/t} - 27,350 \text{ 円/t} = 9,150 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

$$9,100 \text{ 円/t}$$

■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= 9,100 \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.081^{*1} \\ &= 7.38 \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

\*1 変動額100円につき単位料金を0.081(0.075×1.08)円調整します。

\*2 調整額がプラスの時は少数点第3位を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 41m <sup>3</sup> (43.14MJ/m <sup>3</sup> )	平成28年 7月	平成28年 8月	増減
適用料金(円/月)	5,265	5,199	▲ 66

・ 標準家庭料金の計算方法

群馬地区

本体料金(税込)=基本料金(1,272.54円)

$$+ \text{調整単位料金}(103.16 \text{円}) + 7.38 \text{円} \times 41 \text{m}^3$$

料金改定時の基準単位料金↑

↑単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m<sup>3</sup>当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(27,350円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>当たり0.081円(0.075円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNGの貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。